

その日、何が起きたのか？

イースターの出来事



やく 2,000 ねんまえ 年前、イエス・キリスト
は、現在イスラエルと呼ばれている
地で、当時のユダヤ地方を治めて
いたローマ帝国の総督ポンテオ・
ピラトの命令によって十字架刑に
なりました。ユダヤの祭司長や
宗教指導者たちに、神をけがし
たといういつわりの罪でうった
えられたからですが、神へのぼ
うとくはローマ帝国では罪で
はなかったので、ピラトはイ
エスを釈放したいと思ってい
ました。けれども、町をさわ
がせたとうったえられている
人を多めに見ると、ローマ
帝国への不忠とみなされ
るかもしれないことや、イ
エスを十字架につけよと
群衆にけたたましく迫ら
れたことから、ピラトは
その要求に屈してしま
いました。イエスの処
刑は、ユダヤの過越の
祭の直前にとり行わ
れました。

10 世紀のアラビア語の
文書には、ユダヤ人の歴史
家フラウィウス・ヨセフスに
よって記されたとする、以
下の記録がのっています。

このころ、イエスと呼ば
れる賢者がいた。彼は、立
派な行いで知られていた。
ユダヤ人から他国人にいた
るまで、多くの人々が彼の
弟子となった。ピラトは、

彼に十字架刑の判決を下
した。しかし、弟子たちは
彼への忠誠心を捨てなかつ
た。弟子たちは、十字架刑
になった3日後、イエスが
生きて彼らの前に現れたと

報告している。彼らはイエス
が、預言者によって記され
ていた、奇跡を行うメシヤで
あると信じていた。



フラウィウス・ヨセフス（西暦 37? 年～ 100 年）、
ユダヤ人の歴史家。本名ヨセフス・ベン・マタティア。
ローマ帝国時代の1 世紀に実存したユダヤ人の
歴史家。エルサレム生まれ。不承不承ロー
マ帝国への反乱に加わる（西暦 66-70 年）。
その後、皇帝ウェスパシアヌスに赦免され、
その息子ティトゥスの補佐として働き、西暦
70 年のエルサレム攻撃に参加。ヨセフスが
のこした『ユダヤ戦記』には、紀元前 2 年から
ユダヤ人の反乱の終わりまでのユダヤの歴史が
書き記されている。『ユダヤ古代誌』には、天地
創造から反乱の起きた西暦 66 年までの歴史が
記されている。ヨセフスは西暦 100 年ごろにロー
マで死去。

Student Encyclopædia, Britannica Online for Kids より

以下の記述は、イエスの弟子の一人であるマタイが、イエスの死について書き記したものです。

(イエスの十字架刑の)あくる日、祭司長、パリサイ人たちは、ピラトのもとに集まって言った、「長官、あの偽り者がまだ生きていたとき、『三日の後に自分はいよみがえる』と言ったのを、思い出しました。ですから、三日目まで墓の番をするように、さしずをして下さい。そうしないと、弟子たちがきて彼を盗み出し、『イエスは死人の中から、よみがえった』と、民衆に言いふらすかも知れません。そうになると、みんなが前よりも、もっとひどくだまされることになりましょう」。

ピラトは彼らに言った、「番人がいるから、行っている限り、番をさせるがよい」。そこで、彼らは行って石に封印をし、番人を置

いて墓の番をさせた。

さて、安息日が終わって、週の初めの日の明け方に、マグダラのマリヤとほかのマリヤとが、墓を見にきた。すると、大きな地震が起こった。それは主の使が天から下って、そこにきて石をわきへころがし、その上に

すわったからである。その姿はいなずまのように輝き、その衣は雪のように真白であつた。見張りをしていた人たちは、おそろしさの余りふるえあがって、死人のようになった。

この御使は女たちにむかって言った、「おそれるこ

とはない。あなたがたが十字架におかかりになったイエスをさがしていることは、わたしにわかっているが、もうここにはおられない。かねて言われたとおりに、よみがえられたのである。さあ、イエスが納められていた場所をごらん下さい。そ

して、急いで行って、弟子たちにこう伝えなさい、『イエスは死人の中からよみがえられた。見よ、あなたがたより先にガリラヤへ行かれる。そこでお会いできるであろう』。あなたがたに、これだけ言うておく」。





おんな い あいだ
 女たちが行っている間に、
 ばんにん ひとびと
 番人のうちのある人々が
 みやこ かえ
 都に帰って、いっさいの
 で きごと さいしちょう はな
 出来事を祭司長たちに話
 した。祭司長たちは長老
 たちと集まって協議をこ
 らし、へいそつ
 兵卒たちにたく
 さんの金を与えて言っ
 た、『弟子たちが夜中
 にきて、われわれの
 ね あいだ かれ ぬす
 寝ている間に彼を盗
 んだ』と言え。万一
 このことが総督の
 みみ
 耳にはいっても、わ
 れわれが総督に説
 いて、あなたがたに
 めいわく
 迷惑がかからないよ

おんな
 そこで女たちはおそれな
 おおよろこ いそ はか
 がらも大喜びで、急いで墓
 た さ で し
 を立ち去り、弟子たちに知
 らせるために走って行った。
 はし い
 すると、イエスは彼らに出
 あ へいあん い
 会って、「平安あれ」と言わ
 れたので、彼らは近寄りイ

あし はい
 エスのみ足をいだいて拝し
 た。そのとき、イエスは彼
 い
 らに言われた、「おそれるこ
 とはない。行って兄弟たち
 きょうだい
 に、ガリラヤに行け、そこ
 でわたしに会えるであろう、
 つ
 と告げなさい」。

うにしよう。そこで、彼ら
 かね う と おし
 は金を受け取って、教えら
 れたとおりにした。そしてこ
 はなし こんにち いた
 の話は、今日に至るまでユ
 じん あいだ
 ダヤ人の間にひろまってい
 る。

さて、十一人の弟子たちはガリラヤに行って、イエスが彼らに行くように命じられた山に登った。そして、イエスに会って拝した。しかし、疑う者もいた。イエスは彼らに近づいてきて言われた、「わたしは、天にお

いても地においても、いつさいの権威を授けられた。それゆえに、あなたがたは行って、すべての国民を弟子として、父と子と聖霊との名によって、彼らにバプテスマを施し、あなたがたに命じておいたいっさいの

ことを守るように教えよ。見よ、わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいるのである」(口語訳聖書、マタイによる福音書 27:62-66; 28:1-20)。



イースター(復活)の物語を聖書から読んでみましょう:

- ☐ エルサレムへの輝かしい入城:
ルカによる福音書 19:29-40
- ☐ 弟子たちと最後の晩餐を共にする:
ルカによる福音書 22:7-30
- ☐ ゲッセマネの園での苦悩:
ルカによる福音書 22:39-46
- ☐ 裏切り: ルカによる福音書 22:47-53
- ☐ 裁判、あざけられ、むち打たれる:
ルカによる福音書 22:54-71; 23:1-24
- ☐ 十字架刑: ルカによる福音書 23:26-46
- ☐ 埋葬: ルカによる福音書 23:50-53
- ☐ よみがえり(復活): マタイによる福音書 第28章、マルコによる福音書 第16章、ルカによる福音書 第24章、ヨハネによる福音書 第20章



いの イースターの祈り

イエス様、あなたが^{さま}全人類^{ぜんじんるい}の救い^{すく}
のためにご自分の命^{いのち}を与えて下さ^{あた}ったこと^{くだ}を感謝^{かんしゃ}します。あなたは、罪^{つみ}
をあがなうために、十字架^{じゅうじか}の上で苦^う
悩^なと死^しを味わわれました。けれど
も、話^{はなし}はそこで終わり^おりませんでした。
わたしたちが死^しをおそれなくてい
いように、あなたは死^しそのものに
打ち勝^うたれたのです。あなたは、
あなたを信じ^{しん}るすべての人^{ひと}のため
に、天国^{てんごく}に場所^{ばしょ}を用意^{ようい}して下
さいました。

わたしのためにどんな苦^く労^{ろう}
もおしまない、そんなにも素
晴^すらしいあなた^{あい}の愛^{かんしゃ}を感謝
します。